

TUMSAT-OACIS Repository - Tokyo

University of Marine Science and Technology

(東京海洋大学)

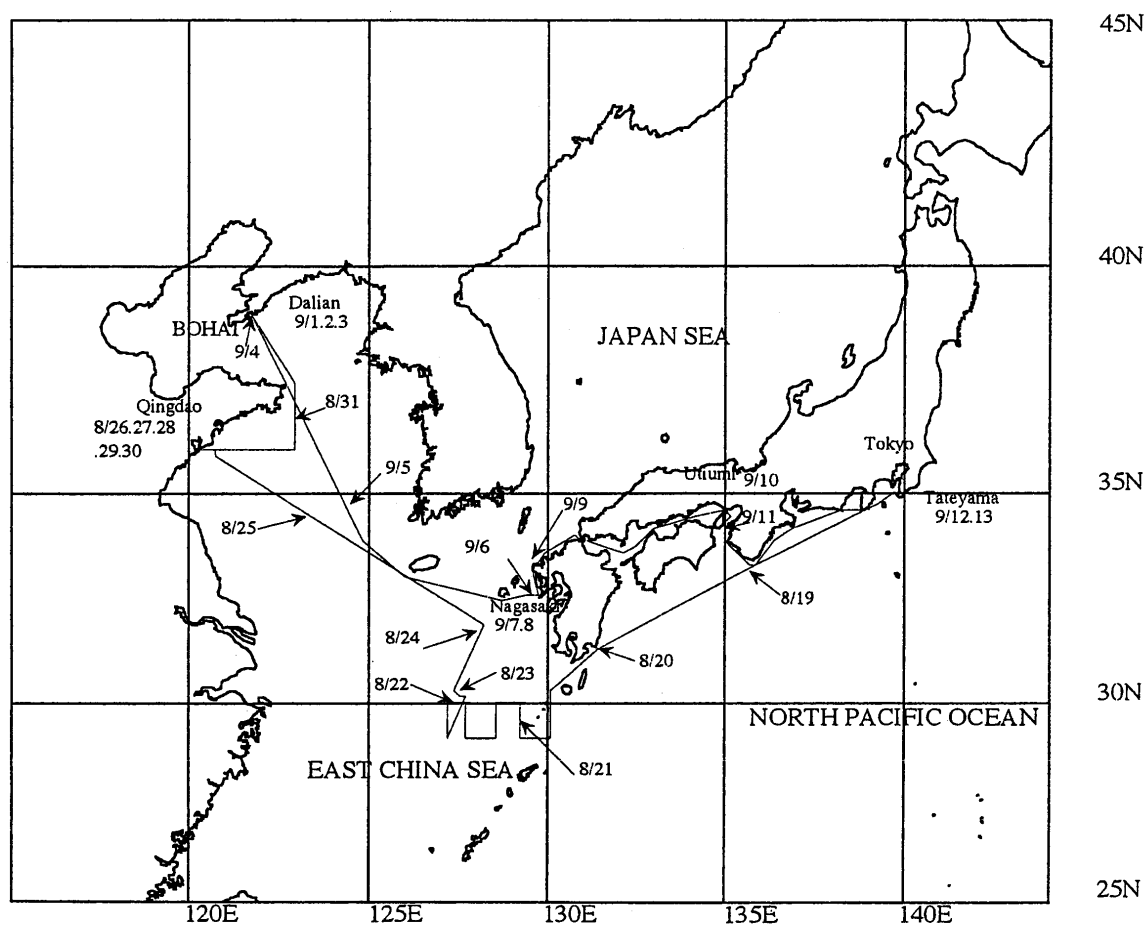
第二部 神鷹丸航海調査報告 第39次航海報告 期間
平成9年8月～平成9年9月 海域 東支那海及び黄海

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2008-04-10 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	https://oacis.repo.nii.ac.jp/records/264

このページは非表示です。

This page is hidden from view.

1.3. 航跡図 Track Chart



1.4.実習教育の経過及び航海撮要日誌 Outline of Training and Abstract Log

1.4.1.実習教育の経過 Outline of Training

平成9年度乗船漁業実習Ⅲは東京水産大学4年次学部生24名が乗船し、平成9年8月15日から平成9年9月15日までの1ヶ月間行われた。西日本を中心とし、南黄海の調査及び中華人民共和国の協定校との学術交流を主体とした航海を行い、途中東シナ海にてトロール操業実習及びCTDによる海洋調査及び海洋観測実習を実施した。

航海中・停泊中を通じて本学講義内容要旨及びSTCW条約の基準に準じた船舶職員法の第1種海技士養成施設のカリキュラムに基づいての実習や消火、退船などの講義及び応急部署訓練を実施した。

- 1) 航海学 GPSやロランCを使用した電波双曲線航法や沿岸航法及びレーダー・ジャイロコンパス・磁気コンパス、ドブレーログ等の航海計器、航路選定について講義実習を実施した。
- 2) 運用学 船舶の種類や構造及び要目、主な設備と属具、船用品とその取扱い及び保守手入れ方法、錨泊時の注意事項、操縦性能及び運動性能等及び荒天準備手順等の特殊操船法と応急保安処置、トリム計算について講義実習を行った。
- 3) 海事法規 海事法規全般及び海上交通3法の海上衝突予防法（灯火・信号を含む）、海上交通安全法（浦賀水道航路、中ノ瀬航路）、港則法（京浜港、那覇港等）及び船舶職員法を主として講義実習を実施した。
- 4) 機関学 機関概要、機関当直、電気回路等についての講義実習を実施した。
- 5) 漁業実習及び海洋観測 船尾トロール実習において漁具構成、漁獲物処理及び水温・塩分・溶存酸素等の鉛直方向の観測を行い東シナ海の漁場環境についての実習を行った。なお実習及び観測海域は、我が国の排他的経済水域(EZZ)内で行った。
- 6) 学外交流 青島海洋大学と国家海洋局第一研究所（中華人民共和国国家海洋局）との学術交流及び大連水産学院を訪問し、教官・学生・研究者との学術交流を行い、当校と提携している水産関係施設を見学し、水産事情及び港湾事情について見識を深めた。また黄海におけるリモートセンシングのデータ交換等を行った。



Photo.1 大連水産学院での交換会

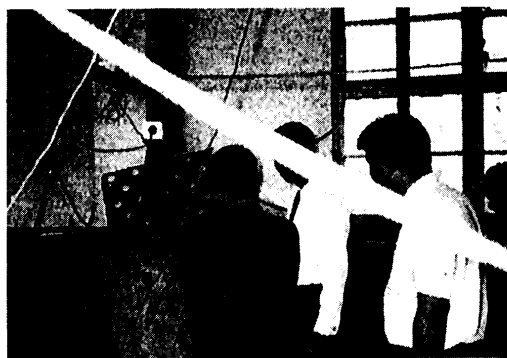


Photo.2 大連水産学院見学